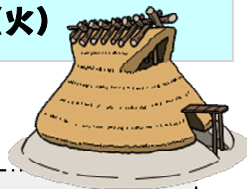




由比生涯学習交流館



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月8日(火)

「楽しみながらはにわ作りに取り組んで、当時の人々の暮らしや物作りについて想像を膨らませることができたと思います。」

由比生涯学習交流館の夏休み子ども向け事業の一つとして、はにわ作りを通して、歴史に触れ、興味関心をもつことにつなげる目的で、小学1年～6年までの20人がミニはにわ作り体験を行いました。

ミニはにわ作り体験

初めに、埴輪について簡単に学習しました。静岡県では埴輪があまり出土していないことや、古墳についても学びました。また、埴輪の形には、筒型をした円筒埴輪と、人物や家などの様々な形をした形象埴輪などがあることも知りました。

「はにわの歴史を知ることができたので勉強になりました。」



いよいよ子どもたちが埴輪を作ります。まずは、どんな形にするかを考え

ます。見本の写真を見ながら、どうしようとあれこれ悩んでいました。可愛い形の人物埴輪が人気でした。形を決めたら、粘土をこね始めました。土の粘土は

初めてだったので、上手く形を作れなかったり部品をつけるのにも上手くいかなかったりして苦労しました。途中で、ひびが入ってきれいな表面にならなかったため、水をつけてきれいにして、楽しみながら思い思いの形に仕上げることができました。



「上手に可愛くできました。」

「思ったよりうまく作ることができました。」



担当者の感想

「歴史に触れることで、身近な遺跡にも興味をもてる授業でした。楽しみながらはにわ作りに取り組んで、当時の人々の暮らしや物作りについて想像を膨らませることができたと思います。センターの職員さんには、とても丁寧に指導していただきました。子どもたちにもわかりやすかったと思います。ミニはにわ作り体験は、参加者全員が良かったと答えてくれました。また来年度もよろしくお願いします。」

